

ささやま医療センターの 経営移譲に向けて

最終合意書を締結

兵庫医科大学ささやま医療センターの経営移譲について、3月27日に市と兵庫医科大学、にしき記念病院を運営する医療法人社団・みどり会の3者において、最終合意書を締結。7月1日から、「みどり会・ささやま医療センター」としてスタートします。

問い合わせ 長寿福祉課 ☎552-15346

兵庫医科大学によるささやま医療センターの長期的な運営が難しくなったことで、令和7年2月から兵庫医科大学と医療法人社団・みどり会（にしき記念病院）とで、経営移譲に向けた協議が始まりました。

その協議の過程において、みどり会から、ささやま医療センターや、ささやま老人保健施設等の土地・建物の不動産、医療機器などを購入し、みどり会が市から賃貸借して病院運営を行い、市民に医療を提供したいとの要望がありました。

兵庫医科大学からもその仕組みが実現しなければ、みどり会への経営移譲が困難になるとの申し入れもありました。市の財政状況から非常に厳しい提案でしたが、「ささやま医療センター」の存続を最優先することが、市民の皆さんの医療を守ることにつながることを考え、協議を行ってまいりました。

そうした中、2月6日に丹波篠山市役所において、市、兵庫医科大学、みどり会の三者で、ささやま医療センター

の譲渡、賃貸借等取引を進めるための基本的な枠組みを確認し、最終契約に向けて協議を進めるため、基本合意を締結しました。

そして、3月27日には兵庫医科大学・太城力良理事長、みどり会・井手通雄理事長、酒井隆明市長が出席し、最終合意書に調印。7月1日から、「みどり会・ささやま医療センター」として、スタートすることになりました。

この最終合意に基づき、ささやま医療センターや併設のささやま老人保健施設など、全事業がみどり会に移譲さ

れまます。それに併せて、市は兵庫医科大学からささやま医療センターの土地や建物、医療機器などを12億3966万円で買い取るとともに、土地・建物はみどり会へ年間4000万円（貸借期間35年）で貸与。また、医療機器はみどり会に無償で貸与する代わりに、維持管理はみどり会が担うこととなります。

市では、これまでささやま医療センターが担ってこられた役割をみどり会が引き継がれることに対して、できるだけ協力は必要であると考えています。加えて、市内

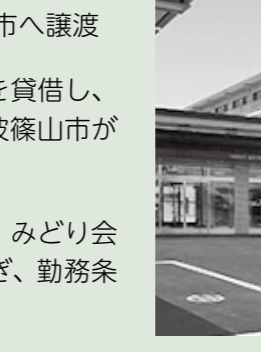
で医療、介護の中心的な役割を果たされている医療法人社団・紀洋会（岡本病院）に対しても、同様に協力は必要と考えています。みどり会、紀洋会の2法人が中心となって、市の医療や介護を支えていただくことを願っています。

現在の地域の病床数は残さないといけないと思ひ、移譲先に手を上げました。オープンまで期間はありませんが、7月にはささやま医療センターの体制を引き継げるよう準備を進めていきます。

新病院では、現在の診療科（内科、総合診療科、リハビリテーション科、小児科、放射線科、麻酔科）を維持し、にしき記念病院で行っている診療体制を新病院でも取り入れていきたいと思ひます。丹波篠山で多いのは、高齢者の肺炎や骨折など。その治療やリハビリに力を入れていきたいです。

これまで、兵庫医科大学はいろいろなことに取り組みされてきています。それをみどり会が引き継いでくれてよかったと、皆さんに言ってもらえるようがんばっていききたいと思ひます。

医療法人社団・みどり会
井手通雄理事長



最終合意書の概要

- ささやま医療センターや、ささやま老人保健施設等の事業をみどり会へ譲渡
- ささやま医療センターや、ささやま老人保健施設等の不動産を兵庫医科大学から丹波篠山市へ譲渡
- ささやま医療センターや、ささやま老人保健施設等の医療機器等の固定資産を兵庫医科大学から丹波篠山市へ譲渡
- 丹波篠山市はみどり会に対し、取得した不動産を貸借し、みどり会が施設を運営。固定資産についても丹波篠山市がみどり会に貸借
- ささやま医療センターで勤務する職員の雇用は、みどり会は継続勤務を希望する職員を原則として引き継ぎ、勤務条件も可能な限り維持するよう努める



経営移譲にかかる最終合意書を締結した兵庫医科大学・太城力良理事長とみどり会・井手通雄理事長、酒井隆明市長（左から）



令和8年度から市内中学校で/

認定地域クラブ制度が本格的に始動します!!

認定地域クラブとは?

中学校部活動を継承・発展させた新たな中学生のスポーツ・文化芸術活動として認定した活動のこと。市では、令和6年度から、主に学校部活動の休日活動を担う地域クラブ活動を開始しています。

「学校単位」の部活動から「地域主体」の部活動地域展開へ

生徒数減少に伴い、学校単位での活動が困難な部活動が増加する現状を踏まえ、学校の枠を超えた幅広い「地域主体の活動＝部活動地域展開」に変わっていきます。

令和8年度、丹波篠山市では7種目の認定地域クラブ活動を実施し、主に休日活動を担います

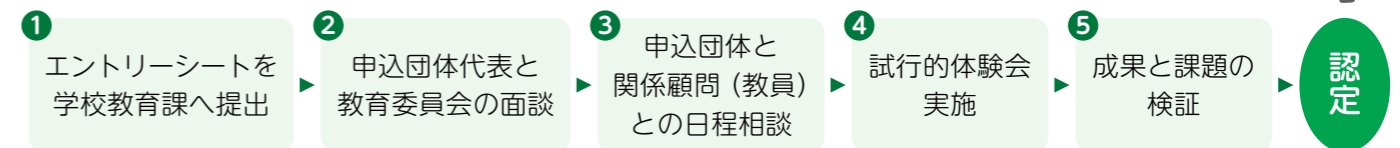
令和6年度から実施	HC HYOGO HEARTS (ホッケー)	丹波篠山SC (サッカー)	丹波篠山市剣道連盟 中学部 (剣道)	丹波篠山SOFTBALL CLUB (ソフトボール)
令和8年度から新規(予定含む)	男子バレーボール	軟式野球	男子バスケットボール	



中学生の多様なスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を創出するため
認定地域クラブの公募を継続します!



認定までの流れ



認定要件

事項	主な内容
活動の目的・理念	学校部活動が担ってきた教育的意義の継承・発展、幅広い活動機会の創出
活動時間・休養日	平日＝1日2時間程度以内、休日＝3時間程度以内 週2日以上上の休養日設定 ※休日のみ活動の場合、原則土日どちらか休養日。
参加費など	持続的な活動・運営のため、可能な限り負担の少ない参加費などの設定(月謝・年会費など)
指導体制	暴力、暴言、ハラスメント、いじめなどの不適切指導防止の徹底 指導員登録制、県・市が行う研修会の受講
安全確保	適切な活動(健康状態把握、気温把握など)、設備用具点検、保険加入(参加者・指導者)
運営体制	規約などの作成、適切な会計処理、営利を目的としない運営
中学校などとの連携	平日学校部活動との連携(活動計画、生徒の活動状況の共有など)

★特に、女子バレーボール、女子バスケットボール、卓球、吹奏楽、美術、家庭の受け皿を探しています。それ以外についても、相談を受け付けています。

詳しくは市ホームページへ

問い合わせ 学校教育課 ☎552-5653



第3次丹波篠山市環境基本計画を策定しました

問い合わせ 農村環境課 ☎552-5013

丹波篠山市の魅力であり、国内外から高く評価される豊かな自然や文化的な景観。それらは先人たちの長年の努力によって培われてきました。

先人たちの思いを引き継ぎ、さらに魅力を高められるよう策定された丹波篠山市環境基本計画。このたび、第2次計画の期間が令和7年度に終了することを受け、第3次計画を策定しました。第3次計画

では、第2次計画で掲げた「環境を守る、まちづくりに活かす」という理念を継承し、さらに市民に身近なものとするをめざすとともに、これまで取り組んできた自然環境の再生、生態系の保全、環境に配慮した農業などの施策を着実に進め、新たな課題への対応をめざします。



平成22年

第1次丹波篠山市環境基本計画 策定

自然や田園風景、生きもの、快適な暮らしを大切にしながら、「守ること」を中心に環境への取り組みを進める。

令和2年

第2次丹波篠山市環境基本計画 策定

これまでの取り組みに加え、「まちづくりに環境を活かす」という新たな視点を理念に掲げ、環境を地域の魅力や活力につなげることをめざし、自然環境の再生や保全などに積極的に取り組む。

【第3次計画 環境施策の理念】

～美しい農村を未来へつなぐために 環境を「守る」、まちづくりに「活かす」～

第3次計画では第2次計画で掲げた「環境を『守る』、まちづくりに『活かす』」という理念を継承し、より市民一人ひとりが環境と関わり、日々の暮らしの中で自然を感じ、守り、活かしていくまちをめざします。

★重点的に取り組む施策★

- ①協働プロジェクトの推進
- ②市民みんなで育てる「エコ・ティーチャー」プロジェクト



★「めざすまちの姿」と達成に

向けた取り組みのイメージ★
環境課題解決のための施策は、丹波篠山ならではの5つの重点分野で検討し、取り組んでいきます。

【5つの重点分野】

- ①人財づくり
- ②自然・景観
- ③農業・林業
- ④生活・暮らし
- ⑤気候変動対策

熱中症に要注意! 年々暑さが厳しくなる夏。自分は大丈夫と思わず、日ごろから熱中症対策を!
問い合わせ 消防本部 ☎594-1119 / 健康課 ☎594-1117

まずは、暑熱順化から!

体を暑さに慣れさせる暑熱順化。暑熱順化には個人差もありますが、数日から2週間程度かかります。暑くなる前から運動や入浴などで、体を暑さに慣れさせていきましょう。

★熱中症予防のポイント★

- ①のどが渇いていなくても、こまめに水分補給
- ②睡眠環境を快適に保つ
→通気性や吸水性がよい寝具の使用/エアコンや扇風機の使用
- ③バランスのよい食事を心がける

★熱中症警戒アラートに関心を!★

熱中症の危険性に対する「気付き」を促すことを目的に発表される熱中症警戒アラート。アラートが発表されている日は涼しい環境で過ごし、こまめな休憩や水分・塩分補給をしましょう。高齢者、乳幼児などは熱中症にかかりやすいため特に注意し、周囲も声かけをしましょう。

アラート期間 4月22日(水)～10月21日(水)

熱中症の発症には、体調が大きく影響します。日ごろから自身の体調の変化を敏感に感じとり、いつもと違うときは無理をしないことが大切です。

★近年の熱中症発症傾向★

屋外での農作業中や運動競技中の発症が多数! 男性の方が熱中症で救急搬送される割合が高く、年齢別では65歳以上が約6割を占めています。

